

美々津中学校便り



11月発行号

文責：横山 博章（校長）

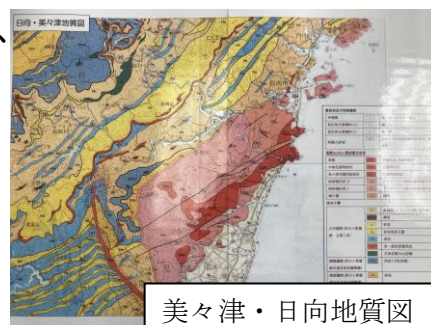
〇みみつ歴史講座に参加して

美々津公民館主催講座である「古代ロマンに浸る みみつ歴史講座」に参加する機会を得た。7月から10月までの4回の講座で、講師の美々津公民館社会教育指導員の黒木幸信先生（元美々津中学校校長）による、美々津の通史を中心に、「古代縄文人の世界観」「神武天皇東征」「日向備長炭」の3テーマを加えた講義であった。どの回も、興味をくすぐる内容と、参加者による知識の付け加えがあり、深みのある学習ができた。私自身、第1回目の講義の中に出てきた「メンヒル(巨石)」に惹かれ、巨石をつくる花崗斑岩（かこうはんがん）という岩石の名称に疑問をもった。「中学校の理科では、花崗岩は出てくるが、花崗斑岩とはいったい何者か」という疑問である。調べてみると花崗斑岩とは、花崗岩と流紋岩（りゅうもんがん）の中間に位置する岩石ということであった。（※中学校3年生と2年生はすでに花崗岩・流紋岩を理科で学習しているので、分からない場合は聞いてみると良いと思います。）



石神山メンヒル

そこから、さらに美々津・日向をつくる地質について興味がわき、地質について調べてみることにした。右の地質図はその時調べたものである。地質を調べると、美々津・日向の地が宮崎県の他の地域の地質とは成り立ちや性質がずいぶん違う事に気付いた。



美々津・日向地質図

また、この地質の状況があることで、美々津の歴史に結びつくことが興味深かった。ちなみに、美々津をつくる地質は1400万年ほど前の尾鈴山火山の溶結凝灰岩とそれを貫く形で存在する花崗閃緑斑岩（かこうせんりょくはんがん）だそうである。美々津公民館の歴史講座を受けて、自分達の住む地域の良さを知ることができたことに感謝している。また、知的好奇心をくすぐる内容に触れ、学びの深みを得ることができた。これは、学校の授業に通じるものがある。「なぜ学ぶのか」という学習の必然性」「疑問をわかせるテーマや課題」「自分で主体的に調べようとする姿」「知識が得られた喜び」「得た知識の活用」等、子ども達が、学ぶ意欲を持続させるために必要な流れに思える。今回の学びは、「郷土愛」を育む観点から、生徒にも伝えていかなければならない内容である。参加された地域の方の知見による話も貴重なものがあった。どこかで生かす機会が作れたらと考えている。

〇キャリア教育の推進

3年生が10月21日(金)に東郷メディキット、牧水記念文学館等を訪問し、企業体験やふるさと資源を再発見する取組をしました。また、1年生は10月25日(火)に日向学院高等学校、宮崎市科学技術館を訪問し、高校の様子や科学技術について触れました。



3年ふるさと学習



1年校外学習



スポーツフェスタ2022



朝から雨が降り、天候が心配され、途中中断もありましたが、競技を進めていくうちに雨も上がり、無事に開催することができました。3年生を中心に世話役も含め生徒達が一致団結し、新しい風を吹かせた素晴らしいスポーツフェスタになりました。たくさんのご家族の皆さんや来賓のみなさんにご参加いただきありがとうございました。ありがとうございました。

生徒会役員改選 立会演説会・選挙・新役員決まる



〔新生徒会役員〕

- | | | | |
|----------------------|-----------------------|--------------------------|--------------------------|
| 【生徒会長】
海野 結愛(2年) | 【生徒会副会長】
敷田 健瑠(2年) | 【生徒会書記】
安藤 愛空(1年) | |
| 【学習委員長】
藤間 大地(2年) | 【学習副委員長】
大田 百華(1年) | 【生活委員長】
黒木 実南(2年) | 【生活副委員長】
黒木 優那(1年) |
| 【健康委員長】
太田 百嘩(2年) | 【健康副委員長】
海埜 恵汰(1年) | 【プログラム委員長】
高瀬 れいら(2年) | 【プログラム副委員長】
那須 心奏(1年) |

「生きる力」を育む健康教育充実事業



10月26日(水)
渡邊産婦人科院長
渡邊裕之先生から
「生命尊重について」という題で講話をいただきました。生命誕生の神秘と自他のいのちを尊重する心を学びました。

生理用品の寄贈



10月18日(火)
生理用品の寄贈を
サンピア日向さん
からいただきました。
女子トイレに
専用ボックスを設
置し誰もがいつでも
使える環境を整備し
ています。PTA 執行部
のみなさんのおかげ
で、学校が協力して
取り組んでいます。